



2018年 本屋大賞作品



菊陵中 図書 だより Library News 2018年 第2号

新しい生活には慣れましたか？

新一年生にとっては、小学生から中学生という大きな変化を経験したことだと思えます。菊陵中図書館もカウンターや書架を移動し、リニューアルされ心機一新！しました。これから続々と新しい本を入荷していきます。気になる本・読みたい本はリクエストを受け付けています。館内リクエストノートに記入してください。

★図書館利用状況★

4月（8日間）

来館者数 525名 1日平均 65人
貸出冊数 90冊 1人平均 0.4冊



司書のおすすめ本や話題の本
本屋大賞・芥川賞・直木賞など



郷土資料コーナー
北九州ゆかりの作家さんの本



部活・スポーツをテーマにした本

位	書名	著者名	出版社
1	かがみの孤城	辻村深月	ポプラ社
2	盤上の向日葵	柚月裕子	中央公論新社
3	屍人荘の殺人	今村昌弘	東京創元社
4	たゆたえども沈まず	原田マハ	幻冬舎
5	AX アックス	伊坂幸太郎	KADOKAWA
6	騙し絵の牙	塩田武士	KADOKAWA
7	星の子	今村夏子	朝日新聞出版
8	崩れる脳を抱きしめて	知念実希人	実業之日本社
9	百貨の魔法	村山早紀	ポプラ社
10	キラキラ共和国	小川糸	幻冬舎

読んでみませんか？



「くちびるに歌を」中田永一 // 著
拝啓、十五年後の私へ。中学合唱コンクールを目指す彼らの手紙には、誰にも話せない秘密が書かれていた。読後、かつてない幸福感が訪れる切なくピュアな青春小説。



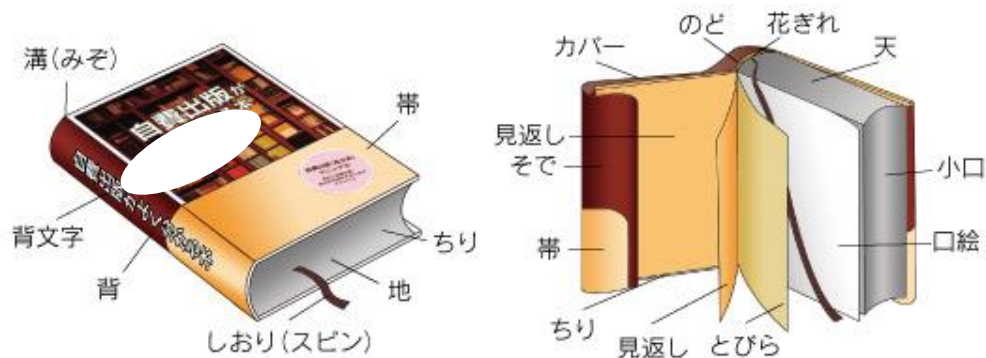
「2.43 清陰高校男子バレー部」壁井ユカコ // 著
きつと、おまえとなら越えられる。田舎の弱小男子バレーボール部に、東京の強豪校からワケあり選手がやってきた。目指すは全国！ まぶしいほどに純粋、てれくさいほどまっすぐな長編青春小説。



「リバウンド」E. ウォルターズ // 著 小梨直 // 訳, 深川直美 // 画
大事なのはシュートして得点をかせぐことだけじゃない。「失敗したシュートを次にどうやって決めるかだ」。カナダのとある町に住むショーンと車いすに乗った転校生デーヴィッド。バスケットボールが好きな二人の物語。



本の部位の名称とは？【知っておきたい本の雑学】



郷土ゆかりの作家の紹介

まはら三桃 (まはら みと)

1966年(昭和41年)北九州市八幡西区生まれ。梅光女学院短期大学部日本文学科卒業。97年より本格的に創作を始める。2005年(平成17年)、「オールドムーブな夜だから」が講談社児童文学新人賞佳作入選、翌年「カラフルな闇」と改題し刊行。11年「おとうさんの手」が読書感想画中央コンクールの指定図書に選定される。12年、「鉄のしびきがはねる」で坪田譲治文学賞受賞。趣味は、散歩と読書。愛するモノは、紅茶、パン、アイスクリーム、家族。

【作品介绍】



「鉄のしびきがはねる」2011/02

北九州の工業高校に通う高校生のお話。主人公は機械科1年唯一の女子、「旋盤」という高度な技術の習得を目指し、「高校生ものづくりコンテスト」挑む。冷たく熱い鉄の塊に挑む！めざせ「ものづくり」の真髄。



「鷹のように帆をあげて」2012/01

親友を交通事故で亡くした中学1年の理央は、ペットショップで出会ったちいさな鷹を育てはじめる。九州の空を舞台に、生きる気流をつかもうとする青春小説。



「白をつなぐ」2015/10

一月、広島で開催される都道府県対抗男子駅伝。福岡を代表して出場する中学生から社会人までの世代の違う選手たちが、それぞれの思いを胸に、たすきをつないで走る姿を描く。



「ひかり生まれるところ」2016/11

赤ん坊のころ、そして思春期と、神社の存在に助けられて成長した希美。大人になり、神職として神社で働く希美が、ある日、ご神木のそばに見たものとは？主人公の心の葛藤と成長を、神社の行事や境内で起こるさまざまな事件とともに生き生きと描いた爽快青春物語。

来月入荷
します

夏休みに読んでみませんか

課題図書
の紹介
(中学校の部)



「一〇五度」

佐藤まどか // 著 913

都内の中高一貫校に、編入した真は中学3年生。スラックスをはいた女子梨々と出会い、極秘で「全国学生チェアデザインコンペ」に挑戦することに…！中学生としては前代未聞の、この勝負の行方は？椅子デザイナーをめざす少年の、熱い夏の物語。



「太陽と月の大地」

コンチャ・ロペス＝ナルバエス // 著 963

16世紀スペイン。キリスト教徒の娘と、イスラム教徒の家に生まれた少年。ふたりの間には恋が芽生えるが、やがて両家の人々は異なる宗教・民族間の対立に巻き込まれていく…。宗教や民族の違いによって引き裂かれ、運命に翻弄される人々を描く一スペインで読みつがれてきた児童文学の名作、初邦訳！



「千年の田んぼ 国境の島に、古代の謎を追いかけて」

石井里津子 // 著 611

日本海の荒波の向こうに浮かぶ、山口県萩市見島。島の南端の本村港から北端にある北灯台まで、直線で約5キロメートル。そんな小さな島に、日本最古の田んぼがあるという。いったい誰が？何のために？大地に刻まれた“奇跡の風景”の謎を解く。